これまで議論を行ってきた事項に関する意見への市の考え方

令和7年10月

分類	意見	市の考え方
大規模改修	建替えよりも、現施設を大規模改修したほうが良いのではないか	令和4年度に開催した旭川市民文化会館の在り方検討会において、 ① 施設の一部が耐震基準に未適合であることに加え、多くの機械設備等が大幅に耐用年数を超過している等、施設全体の老朽化が課題となっていること ② 大規模改修は、既存施設の構造を生かした形での補修となるため、ホールの機能やユニバーサルデザインの面など、現代的な要求に応えられないおそれがあること ③ 既存施設に用いられている鉄筋コンクリートの寿命は、概ね65年程度とされており、建物の躯体を長期にわたって維持することが難しいことから、仮に大規模改修を行う場合、数十億円以上の費用を要すものの、使用可能な年数には限りがあること ④ 建替えの場合、現代的な要求に沿った建物の在り方を実現でき、適切な予防保全を行うことで、80年程度は使用可能と見込まれること 等の理由から「建替えの方が望ましい」との意見が多くを占めたことを受け、旭川市として建替に向けた検討を行うこととし、現在、その検討を進めているところです。
建設地	 クリスタルホールを増築するべき 建替えには賛成だが、市中心部から近く、広い駐車場もあるクリスタルホールに文化会館機能を増築した方が、建設費も安く上がる。 	旭川市民文化会館整備基本計画検討会において、市中心部の中で旭川市立地適正化計画の都市機能誘導区域などの条件に当てはまる候補地として、「旧総合庁舎跡地」「常磐公園」「大雪クリスタルホール多目的広場」「クリスタルパーク」など7地区を抽出し、各候補地について、浸水可能性の有無など安全性の視点や、公共交通の利便性など施設へのアクセス性、周辺環境との調和や連携、敷地利用の影響の視点から比較検討を行い、総合的な判断から「旧総合庁舎跡地」が妥当であるとの意見を受け、令和6年8月に旭川市として建設予定地として決定しました。

公会堂の取扱

- 旭川公会堂の耐用年数 ール機能のあり方につ いて検討すべき
- 市民が活動をするホー ルは別に作るべき。公 会堂も建替を考える。

のことも踏まえ、中ホ 公会堂については、旭川市民文化会館整備基本構想において 「旭川市公共施設等総合管理計画 第1期アクションプログラ ム施設再編計画」より「市民文化会館との機能集約を検討」す ることとなっており、公会堂の有する機能を市民文化会館整備 基本計画に反映するように、今後の検討を行ってまいります。

イメージ模型

- A がいいです。未来を 感じる
- AがBより広く感じA がいいかと
- いのではないか
- A 案のピアノを弾ける ブースをプラスにした 基本B案で良いと思う
- A の方が小ホールがあ るので良い

イメージ模型は、「施設をどのように使いたいか」という検 • hitaru に近い B 案が良 討会での議論を可視化し、市民の皆様にお伝えし、関心を高 め、議論が活性化されることを目的に作成したものであり、A とB、どちらか人気のある方を建設するといった趣旨のもので はありません。